

WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



Weekly Report

VOL.13 No.18 TOTAL 537 平成22年12月6日 第555回例会

【例会日】毎週月曜日 12:30~13:30

【例会場】和歌山市湊通り丁北2-1-2 アバローム紀の国

【事務局】和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2階(〒640-8249)

TEL073-435-3470/FAX073-435-3472

E-mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

会長/田原サヨ子 [会報委員]
副会長/安宅 浩一 ○北畑 充香 ○石垣 秀幸
幹事/野村 伸 石橋瑠子 三木 民生



2010-11年度
国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

RI会長 レイ・クリンギンスミス

2010-11年度

アゼリアロータリーのテーマ

『行動するロータリアンを目指そう』

〈本日の例会〉

- 第555回例会 12月6日(月)
- ☆外部卓話
- 地区ロータリー財団委員長 岩本行弘 様
- 財団奨学生 田中祐美 様
- ☆年次総会 (13:35 ~ 13:40)

〈次回のお知らせ〉

- 第556回例会 12月13日(月)
- ☆誕生会
- ☆内部卓話
- 『お墓ってなあに?』 井上晴喜会員

〈前回の例会記録〉

- ローターソング 我等の生業
- ゲスト紹介 和歌山県赤十字血液センター
献血推進課長 吉田 肇 様
- ビジター紹介 地区社会奉仕委員会
高石RC 坂東 剛 様
- 出席報告 会員数44名
本日の出席 (11/27) 17名 38.63%
前々回修正出席 (11/8) 35名 79.54%
- メイキャップ 役員及びクラブ行事へ 4名

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

- I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
- II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内9ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内容
和歌山北	12月6日(月)	年次総会「次々年度会長・次年度副会長、理事選出について」
和歌山	12月7日(火)	「年次総会」「2009-2010年度出席表彰」
和歌山サンライズ	12月7日(火)	
和歌山東南	12月8日(水)	上半期活動報告②
和歌山西	12月8日(水)	
和歌山東	12月9日(木)	卓話
和歌山城南	12月9日(木)	会員卓話
和歌山南	12月10日(金)	卓話 和歌山大学名譽教授 森川隆之様
和歌山中	12月10日(金)	【例会変更】第2回D.M.発表/海鮮料理「勝浦」午後7時~

会長報告



会長 田原サヨ子

第2640地区社会奉仕委員会坂東剛委員長様、和歌山県赤十字血液センター吉田肇献血推進課長様、ようこそおいで下さいました。本日の献血と卓話、どうぞよろしくお願いいたします。

先日、私たちの姉妹クラブである貝塚コスモスロータリークラブより、小川会長様と神藤幹事様がいらっしゃいました。その時「亡き守行会員様のご葬儀に、お参りいただいたお礼」ということで、御遺族様からニコニコ箱へ多額の御寄付を頂きました。

ところで皆さん、11月21日の親睦旅行いかがでしたか？ 私にとっては、吉本の舞台は期待通りの楽しいものでした。おなかの底から大笑いさせていただきました。皆さんも十分ストレス発散出来たことでしょうか。大活躍の親睦委員会と職業奉仕委員会の皆さん、本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。

さて、11月12日(金)南ロータリークラブ、16日(火)和歌山ロータリークラブ、22日(月)和歌山北ロータリークラブ、26日(金)和歌山中ロータリークラブ以上の4クラブへ、本日の献血奨励についてのお願いを兼ねて、野村幹事と一緒にメイキャップに行ってみました。これで市内他クラブ、9クラブへの訪問計画は8クラブ達成です。そこで学んだことを述べたいと思います。

南ロータリークラブで学んだことは、次の言葉です。「小さいバッチ、大きな信用、重い責任」ロータリーのバッチについての、この短いフレーズには、実に深い意味がある、そう思いました。

和歌山中ロータリークラブでは、フィリピンの姉妹クラブから贈られたという点鐘用の鐘を見て、ビックリいたしました。一般に使われているタイプではなく、教会にある



ようなタイプでした。これもいいなあと思いました。

そして和歌山中ロータリークラブの皆さんは「毎年恒例になっている私達のクラブとの合同例会を、今から楽しみにしております」とのことでした。

最後になりましたが、本日の献血奨励例会よろしくお願いたします。

幹事報告



幹事 野村 伸

- ・ガバナー事務所より、新聞ニュース回覧します。
- ・世界大会のご案内回覧します。
- ・貝塚コスモスRC守行様ご遺族より、50,000円のご寄付をいただきましたので、ニコニコ箱に入れてさせていただきます。

委員会報告

◎親睦活動委員会

栗山 久会員



先週の親睦旅行が無事終了しましたことを、ご報告させていただきます。総勢35名の参加です。皆様大変お疲れ様でした。皆様楽しかったですか？私は終始気疲れまして、あまり食欲も湧きませんでしたし、疲れしました。

吉本新喜劇はさすがに超満員で面白かったです。久々に笑いました。

少々の非難はありましたが、罷免され更迭されるのは、年末の家族会の終了まで持ち越されることになりました。

そして、家族会においての各部会の仮想劇の出来悪しに私の進退がかかっております。

更迭されるには、皆さんが頑張らなければいけません。

何卒、そうならないようお願い申し上げます。

又、各部会で何をするかを12月6日の例会時に小形副委員長がリーダーのところへ伺いに参りますので、ご報告の程よろしくようお願い申し上げます。

◎社会奉仕委員会

松本良二会員



11月27日(土)10:00~16:00行われました、献血活動にご協力ありがとうございました。アゼリアのメンバーやメンバーの会社の方、慶風高等学校の生徒さん多数、鳴神自治会の方など献血してい

ただきました。生徒さんにとって献血を通して社会奉仕をしていただき、今後献血は身近なものになると思います。

田原会長の方針であるロータリアン以外の人々に参加してもらい、ロータリーの社会奉仕を理解していただく一助にもなったと思います。ほんとうにご協力ありがとうございました。



外部卓話

「献血の話」

和歌山県赤十字血液センター

献血推進課長 吉田 肇 様



巷では血液型占いや血液型による性格判断が人気ですが、皆さんは血液型をご存知ですか？大抵の方は知っておられますが、たまにご存知ない方もおられます。また、献血の仕事をしていてびっくりするのは、性格から自分は何型と信じている方がおられることです。献血に来て、血液型の仮判定をした時、「A型と出ていますね。」と言うと、「そんな筈は無い。B型です。」と言い張るのです。「何処かで調べられました？」と尋ねると「皆が私のことをB型だと言うから。」と言った高校生に遭遇したことがあります。

AとかBとかの血液型は知っていても、Rh(+)かRh(-)かははっきりとご存知ない方が結構おられます。日本人の殆どがRh(+)で、Rh(-)の方は0.5%、200人に1人ぐらいおられます。ヨーロッパでは40%以上の方がRh(-)と言われていました。輸血を受ける際にはA O B型とRh型がペアで最低限必要となりますので、是非、知っておいてください。また、戦時中に調べた血液型は間違っているケースが見受けられるのでご注意ください。

さて、献血のお話をする前に輸血のお話をしたいと思います。輸血があるから献血がある訳ですが、昨今は昔と違って「××さんが輸血を受けた」と言っ

た話はあまり耳にしないと思います。これは輸血が減っているのではなく、輸血に関心が無くなっているからなのです。輸血は年々増え続けています。輸血と言えば事故や大怪我を思い浮かべられるでしょうが、輸血で一番血液を使うのは癌（白血病などを含む）の治療です。輸血に使われる血液の約40%は癌の治療です。以外に思われる方が多いと思います。確かに、心臓や肝臓の手術に沢山の血液を使います。癌の場合は手術だけでなく、治療にも血液を使用します。抗癌剤や放射線治療は癌細胞をやっつけるだけでなく健康な細胞にも影響を及ぼします。血液も細胞です。やられた血液を補う為に輸血が必要になります。最近、巷で耳にするようになった白血病は血液の癌で、正常に血液が造れない病気です。白血病治療には骨髄移植がありますが、骨髄移植は最後の手段で、それまでは癌と同じく、抗癌剤などの化学療法で治療しますので輸血が必要となります。そして手術が一度に血液を使うのに対し、治療は少しずつでも長期に亘り使いますので結果、沢山使ったことになるのです。

今や日本人の二人に一人が癌になると言われています。更に、三人に一人は癌で亡くなっています。つまり、輸血は身近にあるのです。その輸血に関心を示さない。それは何故でしょうか？私はその原因が輸血制度の変更にあると思います。昔、献血手帳に血液の使用欄がありました。そのため、献血をしておかないと輸血が受けられない。Aさんが輸血を受けなければならなくなったとき、知り合いの人たちの献血手帳を借りて輸血を受けた、と、いう事がありました。また、患者さんのいる病院に行って枕元輸血をすることもありました。ですから、誰が輸血を受けたか判ったのです。しかし今は献血手帳から使用欄が無くなり、輸血が必要になっても病院が血液センターに連絡すれば血液が届くのです。そうすると「献血しなくても血液は有る」と思う人が増え、輸血を受けた人も献血してくれた人に対する感謝の気持ちが薄くなります。

和歌山県の献血は昭和60年の約92,000人をピークに年々減少し、平成19年は半分以下の約41,000人まで減少しました。しかし、皆さんのご協力もあり、昨年、平成21年度は約44,000人近くと、少しではありますが増えてきました。このうち、輸血で想像される「赤い血」=赤血球は前年と比べ1%伸びました。しかし輸血の使用は9%伸びたため、県内の赤

血球の自給率は92%と血液不足がひどくなっています。特に、22年3月は約6,000人分の赤血球が必要だったのに対し、約4,000人分の献血量しか確保できず、1/3は他府県から応援していただきました。

何故、血液の使用が増えているのか、というと、医療の進歩と輸血を受ける人の85%が50歳以上の方です。少子高齢化が進むと益々輸血が増えてきます。一方、献血する側の若い人達が少なくなっていくため、将来、危機的状況が訪れると予想されています。

血液センターでは今、若い人達の献血協力と子供達への献血教育に力を注いでいます。また、大人の方々に対しては、献血間隔の空いている人には毎年1回の献血、年1回献血している人には年2回以上の献血をお願いしています。更に、献血は64歳迄ですが、60～64歳の間に献血したことのある方は69歳まで献血が可能となる特例があるため、60～64歳の方への呼びかけにも力を入れています。

和歌山県は未だ景気は回復する様子も無く、企業での献血は減る一方です。そのため、私たち血液センターは土・日・祝日の街頭献血を増やして献血者の確保に努める一方、献血に協力いただける団体を探しています。これを機会に、是非、アゼリアロータリークラブ様の献血推進にご協力を賜りますようお願いさせていただきますと共に、皆様方個人またはお近くの方が献血にご協力いただける際には、お子さんやお孫さんに是非献血している姿を見せてあげてください。そうすることにより、将来、私たちに輸血が必要となっても大丈夫な様に、お子さんやお孫さんがきっと助けてくれると思います。

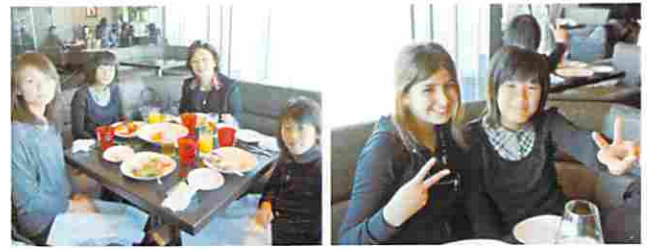
秋の日帰り親睦旅行

11月21日(日)にアゼリアRC会員23名、総勢35名でなんばグランド花月に行ってきました。

当日はお天気もよく、37階のスイスホテルでのバイキングは眺めがすばらしかったです。

なんばグランド花月での吉本新喜劇の観賞も楽しんでまいりました。

職業奉仕委員会の企業訪問も合同で行われ、吉本興業グループ(株)よしもと倶楽部団体営業部営業NGK営業チームプロデューサーの石田哲郎氏を講師に招き、お話を伺いました。



S・A・A 報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

貝塚コスモスRC 守行様ご遺族より 貝塚コスモスRC小川会長様、神藤幹事様が「亡き守行会員のご葬儀にお参りいただいたお礼」ということで、お届け下さいました。守行家御遺族様からニコニコ箱へ多額の御寄付を頂きました。

高石RC 坂東 剛様 社会奉仕活動に感謝!

田原サヨ子会員 赤十字血液センター吉田課長様、本日の卓話宜しくお願い致します。2640地区 社会奉仕委員会 坂東委員長ようこそおいでくださいました。

栗山 久会員 親睦旅行お疲れ様でした。皆様方のロータリアンの行動をとっていただき、無事何事もなく終了しました。ありがとうございます。本日の献血、私の行為は無駄にされ、断られました。(理由は秘密です)

中村善夫会員 親睦旅行、休んですみませんでした。

大野治朗会員 私の血でも献血できるかどうか心配です。

本日合計額 66,000円 今年度累計額 509,000円

*ロータリー財団

田原サヨ子会員 栗山 久会員 中村善夫会員
大野治朗会員

本日合計額 9,000円

*米山奨学

田原サヨ子会員 栗山 久会員 中村善夫会員
大野治朗会員

本日合計額 8,000円